

北大総合博物館主催

土曜市民セミナー
北大の研究最前線

道民カレッジ連携講座



はじけるダイズ

—収穫量を増やす莢の仕組み—

2017

2/11 土

13:30 ~ 15:00

講師

藤野 介延

北海道大学 大学院農学研究院

節分の豆まきに使われるダイズは北海道を代表する作物の一つです。野生ダイズのツルマメなどは成熟すると莢がはじけ、種子をまき散らします。動くことができない植物にとって種子をばらまくことは、子孫を残すために最も大切な形質の一つです。しかし、作物としてみると収量や品質を低下させる大変困った形質です。ダイズも作物になる過程で莢がはじけにくいものが選ばれてきましたが、はじけ易さには程度があります。日本では北海道を除くほとんどの地域で、はじけ易い品種が栽培されています。このダイズのはじけ易さについてお話いたします。

入場無料・申込不要

会場

北海道大学総合博物館 1 階
「知の交流」

アクセス



お問合せ



TEL : 011-706-2658

<http://www.museum.hokudai.ac.jp/>